

弁理士ジョージの相談室 Q & A

ジョージ先生、私は町工場を営んでいるのですが、最近、外国からの引き合いもありまして、外国でも特許を取りたいのですが、費用が高額になったり、為替の影響を受けたりしそうで、相談にまいりました。



そうですね。外国に出願する場合、その国において指定された言語に翻訳する必要があるので翻訳費用が発生すると、弊所費用、現地代理人手数料、現地の庁費用などが発生してきます。また、要件を満たせば利用することができる補助金もあります。あと、募集期間が限られていますので、事前にチェックしておくことをお勧めします。



わかりました。補助金は外国への出願時又は各国移行時のみ対象ですか。



特許出願に関しては中間手続についても対象になる制度もあるようです。



なるほど。募集期間をチェックして、利用できそうなら申請してみます。



申請の際には特許出願の内容も記載することもあるかと思うので、必要であれば記載についてもご相談いただければと思います。

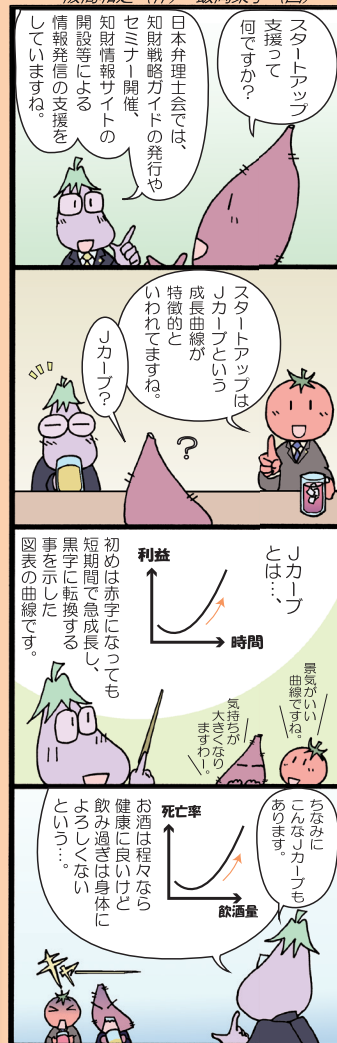


はい。そのときは是非よろしくお願いいたします。



なすびくんのお仕事

版権和之(作) 飯岡菜子(画)



日本弁理士会 広報誌

「PATENT ATTORNEY」は「弁理士」のことです。

PATENT Attorney

2025
VOL.119
秋号

パテント・アトニー



ヒット商品は
こうして生まれた！

ヒット商品を支えた
知的財産権

多彩な商品開発でブランド力を高める

オリオン商標を活用した
ライセンス商品

- シリーズ特産品
(石州和紙(せきしゅうわし))
- 知っておきたい!この技術
トレンドてつく
(mRNA医薬)
- 知財miniトリビア
- 弁理士ジョージの相談室
- 漫画「なすびくんのお仕事」
- 特許庁からのお知らせ
- JPAA Information

特許庁からのお知らせ

特許行政年次報告書 2025 年版を
発行しました



2025 年版冒頭に、産業財産権制度 140 周年を記念して、過去 10 年間の知財関連動向を振り返った特集記事もございます。ぜひ、以下のリンクからご覧ください！



◀ Web 版は [こちら](#) !

特許行政年次報告書

2025 年版



JPAA Information

「知財リテラシー診断」実施中！



日本弁理士会広報センターでは、知財リテラシー診断を実施しています。この診断は、身近な知財に関する設問を通じて、基礎的な知識や理解度を確認できる内容となっています。知っていると思っていたことにも、思いがけない発見があるかもしれません。知財に関する知識を把握する機会として、ぜひご活用ください。

知財リテラシー診断

<https://www.jpaa.or.jp/senryaku2025/diagnosis/index.html>

中小企業・スタートアップ向け知財情報サイト
<https://www.jpaa.or.jp/senryaku2024/>



ヒット商品はこうして生まれた！

ヒット商品を支えた

知的財産権

[vol. 119]



オリオン商標を活用したライセンス商品

商標登録 第 5879948 号 ほか



多彩な商品開発で ブランド力を高める

沖縄を訪れる若い人たちは、まずオリオンビールのロゴが前面に入った T シャツを購入し、これを着てビーチで遊び、食事を楽しみ、そうした光景を撮影して SNS に投稿するのがトレンドだという。オリオンビールのロゴは沖縄を示すアイコンとなっているのだ。オリオンビール株式会社は 1959 年のビール発売以来、地域に根ざし沖縄とともに発展してきたブランドとして、そのロゴとともに県内外で認知されている。同社はドラフトビールをはじめとする飲料事業に加え、商標を活用した多様なライセンス商品が売り上げを伸ばして新たな事業領域を広げてきた。

同社のライセンス商品の始まりは 2010 年頃、生産拠点である名護工場の見学者向けグッズとして T シャツを作ったことだった。2011 年には同工場にオリオンビール史の展示ギャラリー、沖縄のお土産品ショップ、ビアレストランを併設した「オリオンハッピーパーク」を開設した。同社法務・コンプライアンス部の笹渕宏明さんは「ハッピーパークを契機に、商標を活用してビール以外の商品を大きく広げる本格的な取り組みが始まりました」と振り返る。T シャツなどのアパレル製品は当初から OEM の形で外注した。その後、ライセンス事業もスタートし、2010 年代の後半には SNS を

通じてライセンス商品が県外でも知られるようになり、需要拡大が見込まれていた。その流れにコロナ禍の影響もあり、2020 年にオリオンビール公式通販サイトを立ち上げた。これにより、県外の人に沖縄を楽しむアイテムとしてアピールするため、県内のアメカジブランドなどとコラボした商品開発に力を入れるようになった。さらにアメリカのアウトドアウェアの老舗ブランドであるチャムスでのパーカー、ショートパンツなど多彩な商品を展開してきた。

2023 年にはライセンス商品開発やマネジメントに特化した部署が新設されている。ライセンス商品を開発する同社マーケティング本部ライセンス課長の新谷俊作さんはライセンス先を選ぶ基準は「沖縄の美しい海、自然とともにある弊社のブランドに共感してもらえることです。コラボレーションの場合は知名度や波及力も重視しています」という。ライセンス商品のいずれもデザインの提案を受けて同社のブランドイメージに合致するか検討し、修正を求められる場合もあるという。一方で、地元スーパーマーケットから普段使いできる商品の要望や、プロバスケット B リーグの琉球ゴールデンキングスとの商品開発など、県内マーケット向けの商品も拡大している。また 2025 年春には幅広い支持層を持つ漫画・アニメ「ちいかわ（登録商標）」とのコラボで

フェイスタオルやトートバッグを発売するなど、さまざまな分野のクリエイターやブランドとの連携を積極的に進めている。こうした商品は EC サイトだけでなく、県内外の小売店での販売を増やすと同時に、商品や販路を管理し、ブランドを棄損しないよう考慮している。

ライセンス商品の開発について新谷さんは「商標の権利元として使用を許諾するだけでなく、どこで、どうやって売なのか、PR するのか、話題になるかなどをコトとして設計することが重要です。ライセンス先にもこの意識を共有してもらうのがライセンスを管理していく上で大事で、同時に難しい点です」とし、ライセンス先と良い関係を築くことが不可欠だという。そして沖縄でのお土産品さらに、県内外でのライフスタイルブランドとして日常的に使いやすいアイテムを増やすだけでなく、沖縄の自然の豊かさ、美しさ、文化から生まれるさまざまな価値観に対応できるブランド構築を目指している。こうした方向性を踏まえて、同社では商標を飲料だけでなく日用品など幅広い区分で登録して、その価値を最大限に活かす戦略をとっている。

ライセンス商品はビールとは違う入り口からオリオンビールに関心を持つ人を増やすメリットもある。普段はビールを飲まない人が、オリオンビールに親近感を抱く。ライセンス商品は、従来は接点のなかった新しいファンを獲得する効果的な回路ともなり、ブランド力の向上と収益の拡大に大きく貢献している。



シリーズ
JAPAN

特産品

石州和紙(せきしゅうわし)

商標登録 第 6041313 号

石州和紙は、島根県西部（石見地方）で生産される手漉き（てすき）和紙です。石州和紙は、地元産の楮（こうぞ）を主原料に、強靱さと柔軟さを兼ね備え、繊細で、紙肌が滑らかで、やさしい光沢が特徴です。石州和紙は、水に濡れても破れないほど丈夫で、乾かせば元のように使え、黄味かったその色合いが、時を経るにつれ白く美しくなる特徴も備えています。石州和紙の始まりは、平安時代の書物に石州の名前が記されており、奈良時代に柿本人麻呂が民に「紙漉きを教えた」という



記述も江戸時代の書物に見られます。江戸時代には大阪の商人が石州和紙を帳簿として使用し、火事が起こった場合でも帳簿を井戸に投げ入れ焼失をまぬがれたと言われています。1989 年には石州和紙が経済産業大臣から「伝統的工芸品」に指定、石州和紙の用途は幅広く、原料として楮以外にも・三桠（みつまた）・雁皮（がんび）を用いた一枚ものの和紙から、石州半紙をはじめ書画用紙、画仙紙、賞状用紙、染め紙、その他の多種多様の和紙があります。また、石見地域の伝統芸能である石見神楽

の神楽面・蛇頭などに石州和紙が用いられています。近年では、リゾート施設や近隣施設の壁紙、浜田市が発行する結婚記念証の紙など和紙の用途が拡大しています。浜田市内の小中学校では、職人が一枚一枚手漉きした石州和紙の卒業証書が卒業式で授与されます。浜田市石州和紙会館は、石州和紙の手すき技術を伝承する研修施設として使用されるとともに、石州和紙の普及・振興活動を行ない、また、だれでも手漉きを体験することができます（手漉き体験要予約）。

このコーナーに掲載御希望の方は、「特産品」のプロフィール・連絡先を右記までお送りください。 **Fax** 03-3519-2706 **Mail** panf@jpaa.or.jp

知っておきたい!この技術
トレンドてっく

シリーズ
59

mRNA 医薬

新型コロナウイルス（COVID-19）で初めて実用化された m（メッセンジャー）RNA ワクチンの技術は、2023 年のノーベル生理学・医学賞を受賞した。mRNA 医薬は 1970 年代から研究が始まり、課題だった強い炎症反応の抑制に成功した研究がノーベル賞の対象だ。この mRNA に人工

的な装飾をする技術は、mRNA 医薬の可能性を大きく広げた。mRNA は DNA からコピーされたタンパク質の設計図で、ワクチンは病原体のタンパク質の塩基配列から作製した mRNA を投与して体内に病原体のタンパク質を作り、免疫を獲得させるものだ。対象とするウイルスのタンパク質の塩基配列がわかれば、短期間でワクチンを作ることができるだけでなく、変異にも対応できる。また mRNA は体内で素早く分解されるため長期間にわたり影響を及ぼすことがないとされる。

すでに世界では COVID-19 のほか季節性インフルエンザ、ノロウイルス、ジカ熱などの感染症ワクチンに加え、がん治療ワクチンでも治験段階のものが数多くある。がんの場合は、がん細胞の表面に作り出される特殊なタンパク質を mRNA で転写し、免疫療法のターゲットにして治療効果を生むというものだ。このほか自己免疫疾患、糖尿病、筋ジストロフィーなどでも治療薬開発が進められている。製造コストが高額という難点はあ

るが、mRNA 医薬は治療困難だった疾病に治癒の可能性をもたらすと期待されている。

知財 mini

トリビァ

第19回 標準必須特許 (SEP) に至る標準化の歴史

新しい技術が出てくると、製品間の互換性や接続性を確保するための標準規格を作る必要があります。その標準化のために必須な特許のことを「標準必須特許（SEP：Standard-Essential Patent）」と呼びます。

そもそも標準化は古代から存在していました。言語や文字、度量衡（長さ・体積・重さ）、貨幣鑄造基準の統一化などです。産業革命がはじまり大量生産が進んだことで、1841 年に英国で世界初のねじの規格「ウィットウォースねじ」が作られました。その後、国際貿易を円滑化するために標準化の機運が高まり、1906 年に世界初の標準化会議として「国際電気標準会議（IEC）」が設立されました。20 世紀後半は通信分野（電話・インターネット等）での相互接続性の必要性が高まるようになり、特に 2000 年代以降、モバイル通信技術の標準化が進む中で、「特許権が技術普及の障害にならないようにする仕組み」として SEP の重要性が注目されるようになったのです。なお、SEP の権利者には、公平・合理的・非差別的（FRAND：Fair, Reasonable And Non-Discriminatory）な条件のライセンスが求められます。今や家電や自動車もインターネットに繋がるようになり、さまざまな業界も SEP に関わるようになりました。SEP を巡る動向は各国間のパワーバランスにまで影響を及ぼす可能性があり、ますます目が離せなくなっています。（弁理士 稲穂健市）